

紙上
採録

日本機能水学会第15回学術大会

アルカリイオン水・アルカリイオン整水器認可50年記念特集

■開催日：2016年9月10日(土)・11日(日)

■会場：国立京都国際会館

ここまできたアルカリイオン水の科学

認可50年を機に、これまでの歩みとともに最新研究成果の報告が行われました。紙上採録でお伝えいたします。



アルカリイオン水なんでも Q & A

Q1 アルカリイオン水ってどんな水？どうやって作るの？

アルカリイオン水は、アルカリイオン整水器という家庭用電解水生成器(管理医療機器)を用いて水道水を電気分解し、陰極 \ominus で H_2O から生成する水酸化物イオン(OH^-)と水素(H_2)を含む弱いアルカリ性(pH9~10)の電解水です。

水素を含むので電解水素水や還元水素水とも呼ばれます。

アルカリイオン整水器は、「JIS T 2004」というJIS規格が定められており、それをクリアしたものに認証番号が付けられて販売されています。



※イラストはイメージです。

アルカリイオン水って、最近よく耳にしますが、本当はどんな水？ どうやって作るの？ どんな効果があるの？ 安全なの？ 知っているようで知らないアルカリイオン水について、Q&A形式でわかりやすくお答えします。

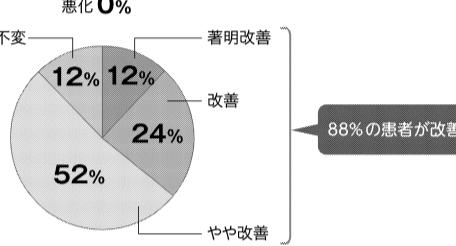
Q2 ほんとうにからだに良いの？ 安全なの？

厚生省(現厚労省)の要請を受けて組織されたアルカリイオン整水器検討委員会(委員長：糸川嘉則京都大学医学部教授(当時))という全く中立の第三者組織において、アルカリイオン整水器でつくられるアルカリイオン水の有効性と安全性について厳密な最先端の科学的検証が行われました。

その結果、1日当たり1L程度のアルカリイオン水の継続飲用によって、慢性の下痢や便秘などの胃腸症状改善効果が確認されました。また、水質試験とカニキザルを用いる動物試験、さらに比較臨床試験により安全性が確認されました。

●慢性の下痢や便秘も改善！

胃腸症状(慢性下痢・便秘・消化不良など)のある患者さん25名がアルカリイオン水を2週間飲んだ結果、88%に改善が認められました。さらに、160名の患者さんを対象に行った二重盲検比較臨床試験で改善効果が確認されました。



アルカリイオン水のあゆみ

1966	アルカリイオン整水器が医療用物質生成器として認可
1992	国民生活センターがアルカリイオン水の効果に疑問を提示 アルカリイオン整水器協議会発足
1993	第三者組織のアルカリイオン整水器検討委員会が検証開始
1999	アルカリイオン水の安全性と胃腸症状改善効果を確認し報告書を厚生省に提出
2002	日本機能水学会設立
2005	「家庭用電解水生成器JIS T 2004」として管埋医療機器の認可
2009	7月11日をアルカリイオン水の日として登録
2011	機能水研究振興財団による研究プロジェクト展開開始
2016	アルカリイオン整水器認可50年



堀田 国元

—確たる科学エビデンスを求めて—
アルカリイオン水研究の過去・現在・未来アルカリイオン水を活用した
酸蝕歯の発生予防について

全性と胃腸症状改善効果を再確認し、報告書を厚生省に提出しました。現在、機能水研究振興財団は日本機能水生成器JIS T 2004として管埋医療機器の認可を受けました。現在、機能水研究振興財団は日本機能水研究会やメーカーと販社からなるアルカリイオン整水器協議会と連携。日本医学会総会での発表一般の方々にも分かり易くされ、報告書をまとめた冊子の販売も開始されました。

この間の歩み振り返ってみると、80年代の水道の評議会と並んでアルカリイオン水は一大ブームを迎えました。

しかし、92年に国民生活センターがその効果に疑問を発表したことを受け、当時の厚生省が効果と安全性に関する先端科学的な再検証を要請。翌93年に中立第三者組織として、京都大学医学部糸川嘉則教授(当時)を委員長とする「アルカリイオン整水器検討委員会」が組織され、5年間にわたる厳密な評価試験によって、アルカリイオン水の安



内藤 裕二

1966年にアルカリイオン整水器が家庭用医療用具として認可されてから、50年が経ちました。この間の歩み振り返ってみると、80年代の水道の評議会と並んでアルカリイオン水は一大ブームを迎えました。

しかし、92年に国民生活センターがその効果に疑問を発表したことを受け、当時の厚生省が効果と安全性に関する先端科学的な再検証を要請。翌93年に中立第三者組織として、京都大学医学部糸川嘉則教授(当時)を委員長とする「アルカリイオン整水器検討委員会」が組織され、5年間にわたる厳密な評価試験によって、アルカリイオン水の安

アルカリイオン水と腸内フローラー
—最先端科学による機能解析—

1966年にアルカリイオン整水器が家庭用医療用具として認可されてから、50年が経ちました。この間の歩み振り返ってみると、80年代の水道の評議会と並んでアルカリイオン水は一大ブームを迎えました。

しかし、92年に国民生活センターがその効果に疑問を発表したことを受け、当時の厚生省が効果と安全性に関する先端科学的な再検証を要請。翌93年に中立第三者組織として、京都大学医学部糸川嘉則教授(当時)を委員長とする「アルカリイオン整水器検討委員会」が組織され、5年間にわたる厳密な評価試験によって、アルカリイオン水の安

1966年にアルカリイオン整水器が家庭用医療用具として認可されてから、50年が経ちました。この間の歩み振り返ってみると、80年代の水道の評議会と並んでアルカリイオン水は一大ブームを迎えました。

しかし、92年に国民生活センターがその効果に疑問を発表したことを受け、当時の厚生省が効果と安全性に関する先端科学的な再検証を要請。翌93年に中立第三者組織として、京都大学医学部糸川嘉則教授(当時)を委員長とする「アルカリイオン整水器検討委員会」が組織され、5年間にわたる厳密な評価試験によって、アルカリイオン水の安



小山 勝弘

1966年にアルカリイオン整水器が家庭用医療用具として認可されてから、50年が経ちました。この間の歩み振り返ってみると、80年代の水道の評議会と並んでアルカリイオン水は一大ブームを迎えました。

しかし、92年に国民生活センターがその効果に疑問を発表したことを受け、当時の厚生省が効果と安全性に関する先端科学的な再検証を要請。翌93年に中立第三者組織として、京都大学医学部糸川嘉則教授(当時)を委員長とする「アルカリイオン整水器検討委員会」が組織され、5年間にわたる厳密な評価試験によって、アルカリイオン水の安



佐藤 勉

1966年にアルカリイオン整水器が家庭用医療用具として認可されてから、50年が経ちました。この間の歩み振り返ってみると、80年代の水道の評議会と並んでアルカリイオン水は一大ブームを迎えました。

しかし、92年に国民生活センターがその効果に疑問を発表したことを受け、当時の厚生省が効果と安全性に関する先端科学的な再検証を要請。翌93年に中立第三者組織として、京都大学医学部糸川嘉則教授(当時)を委員長とする「アルカリイオン整水器検討委員会」が組織され、5年間にわたる厳密な評価試験によって、アルカリイオン水の安

1966年にアルカリイオン整水器が家庭用医療用具として認可されてから、50年が経ちました。この間の歩み振り返ってみると、80年代の水道の評議会と並んでアルカリイオン水は一大ブームを迎えました。

しかし、92年に国民生活センターがその効果に疑問を発表したことを受け、当時の厚生省が効果と安全性に関する先端科学的な再検証を要請。翌93年に中立第三者組織として、京都大学医学部糸川嘉則教授(当時)を委員長とする「アルカリイオン整水器検討委員会」が組織され、5年間にわたる厳密な評価試験によって、アルカリイオン水の安

1966年にアルカリイオン整水器が家庭用医療用具として認可されてから、50年が経ちました。この間の歩み振り返ってみると、80年代の水道の評議会と並んでアルカリイオン水は一大ブームを迎えました。

しかし、92年に国民生活センターがその効果に疑問を発表したことを受け、当時の厚生省が効果と安全性に関する先端科学的な再検証を要請。翌93年に中立第三者組織として、京都大学医学部糸川嘉則教授(当時)を委員長とする「アルカリイオン整水器検討委員会」が組織され、5年間にわたる厳密な評価試験によって、アルカリイオン水の安

1966年にアルカリイオン整水器が家庭用医療用具として認可されてから、50年が経ちました。この間の歩み振り返ってみると、80年代の水道の評議会と並んでアルカリイオン水は一大ブームを迎えました。

しかし、92年に国民生活センターがその効果に疑問を発表したことを受け、当時の厚生省が効果と安全性に関する先端科学的な再検証を要請。翌93年に中立第三者組織として、京都大学医学部糸川嘉則教授(当時)を委員長とする「アルカリイオン整水器検討委員会」が組織され、5年間にわたる厳密な評価試験によって、アルカリイオン水の安

1966年にアルカリイオン整水器が家庭用医療用具として認可されてから、50年が経ちました。この間の歩み振り返ってみると、80年代の水道の評議会と並んでアルカリイオン水は一大ブームを迎えました。

しかし、92年に国民生活センターがその効果に疑問を発表したことを受け、当時の厚生省が効果と安全性に関する先端科学的な再検証を要請。翌93年に中立第三者組織として、京都大学医学部糸川嘉則教授(当時)を委員長とする「アルカリイオン整水器検討委員会」が組織され、5年間にわたる厳密な評価試験によって、アルカリイオン水の安

1966年にアルカリイオン整水器が家庭用医療用具として認可されてから、50年が経ちました。この間の歩み振り返ってみると、80年代の水道の評議会と並んでアルカリイオン水は一大ブームを迎えました。

しかし、92年に国民生活センターがその効果に疑問を発表したことを受け、当時の厚生省が効果と安全性に関する先端科学的な再検証を要請。翌93年に中立第三者組織として、京都大学医学部糸川嘉則教授(当時)を委員長とする「アルカリイオン整水器検討委員会」が組織され、5年間にわたる厳密な評価試験によって、アルカリイオン水の安

1966年にアルカリイオン整水器が家庭用医療用具として認可されてから、50年が経ちました。この間の歩み振り返ってみると、80年代の水道の評議会と並んでアルカリイオン水は一大ブームを迎えました。

しかし、92年に国民生活センターがその効果に疑問を発表したことを受け、当時の厚生省が効果と安全性に関する先端科学的な再検証を要請。翌93年に中立第三者組織として、京都大学医学部糸川嘉則教授(当時)を委員長とする「アルカリイオン整水器検討委員会」が組織され、5年間にわたる厳密な評価試験によって、アルカリイオン水の安